

【老婆／魔女と鷺津武時／マクベス （ふたたび四つの変奏曲）】

〈その二〉

マクベス やい、こら、深夜に密かにものすごいことをする婆ア！ 何をしているんだ？

魔女 名のつけようのないことをしているんじゃない。

マクベス 汝はどうして預言するかしらんが、はたして預言する通力があるなら、懇願する、返答してくれ。よしんばそのために「風」が積み放されて寺々をさえ震動させる暴風が起ころうと、怒濤が捲き起こって船舶を呑み込もうと、穀類が茨から叩き散らされようと、樹木が吹き倒されようと、城塞が衛兵の頭の上へ顛覆しようと、宮殿や三稜塔が土台へ傾こうと、破壊そのものすら厭倦するほど、貴い万物の種がことごとくごつちやになろうと、関ったこたアない、俺が今訊ねることに返答してくれ。

魔女 お言いなさい。

マクベス おう！

魔女 お訊きなさい。

マクベス おう！

魔女 答えましょう。―「だれが怒ろうと、むずかろうと、謀叛を企もうと、関うな。マクベスは、あの大きなバーナムの森が、ダンシネーンの高い丘の上へ攻め寄せてこないうちは、戦に負けるということはないんだ」。

マクベス そんなこたアあろうはずがない。だれが森を徴発することができよう、地に生えついている木をだれが動かさしうるものか？ 愉快的預言だ！ 絶好！

〈その四〉

マクベス （叫ぶ） 出会え！ 物の怪！ 聞きたいことがある！ 出会え！

魔女 これはこれは、スコットランドの王様。

マクベス 出たな、化生けしやうの者！ はつきりと返答しろ！ バンクオーの子がスコットランド王になるといふのはまことか？

魔女 これはこれは、迷いの果てに行きつかれた、めでたや、めでたや。

マクベス ええい、言わぬか！ 貴様にその力があるなら、このマクベスの武運を占え！

魔女 ご安心なされませ。このバーナムの森が動き出して、ダンシネーンの丘へ押し寄せぬ限り、あなた様は戦いくさに敗れることはありません。

マクベス なに！ この森が押し寄せる？ そんなことがあるう道理はない！ ハ

ハハ、すると俺は、戦に負けることはないのだな？ よーし！ 城の堀を血汐ちしおで満たそう！